

アワビ小規模増殖場調査 (要 旨)

勢村 均・由木雄一・石田健次

1. 浜田市津摩地区

昭和59年7月18日および8月30日に調査を行なった。出現したアワビはすべてクロアワビであり、出現個体数は7月18日で3～4個体/5分×1人観察、8月30日で1.5～3.5個体/5分×1人観察であった。殻長10cm以下の個体はいずれの観察日も1/3を占めた。付着場所はすべてブロック下であった。また放流クロアワビが両観察日も観察され、7月18日には殻の伸長が見られたが、8月30日には7月18日とほぼ同一殻長であった。サザエは昨年と同様、観察されなかった。優占した海藻は7月18日はウミウチワ、8月30日はフシスジモクであった。

2. 多伎町小田西地区

昭和56年の保育場内生物量推定調査に続き、本年度も6月～7月にかけて同様の調査を行なった。保育場を含むほぼ160×60mの区域については3.2%、その区域をのぞく230×160mの区域については0.4%を枠取り法により調査した。その結果、クロアワビ、ムラサキウニ、バフンウニは場内に多く分布し、トコブシは場外に多く、アカウニは場内外で密度に変化がなかった。

推定個体数は表1のようになり、クロアワビ、トコブシ、ムラサキウニ、アカウニは増加、サザエは大巾に減少した。また、ウニ類三種の生息場所の特性について観察を行なった。

表1 推定生息個体数

	昭和56年10月の調査区域 内での推定生息個体数	昭和59年7月の太枠内での 推定生息個体数
※ クロアワビ	3,040	3,248
トコブシ	360	1,150
サザエ	2,840	196
ムラサキウニ	} 18,290	16,708
アカウニ		10,654
バフンウニ		109,456

※ 殻長3cm以上

(詳細は「沿整協会ニュースNo.27, 昭和59年度年間報告版」 島根県沿岸漁場整備開発協会, を参照のこと。